

地震による死亡原因で多くの割合を占めているのが圧死です。地震で命を奪われないために、家具類の配置を工夫し、転倒防止措置をとっておきましょう。

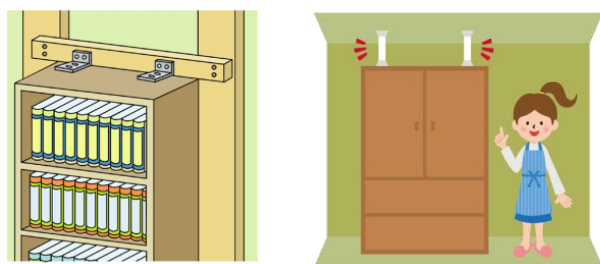
■安全な空間の確保

- 部屋がいくつもある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて置く。
- 無理な場合は、少しでも安全なスペースができるように配置換えを考える。

■出入り口や通路には物を置かない

- 玄関などの出入り口までの通路に、家具など倒れやすい物を置かない。
- 玄関に色々と物を置くと、いざというときに出入り口をふさいでしまうことがある。

■たんす、戸棚、本棚の転倒・移動防止



- L字型の金具や、チェーンを利用して、壁に家具を固定する。
- 天井と家具の間につける「つっぱり」形の転倒防止器具は、壁側の奥にセットする。

■テレビ等の飛び出し防止



- 揺れが大きい場合に飛んでくる可能性があるため、高い場所には置かない。
- 樹脂製の免震シートは耐荷重と耐用年数を確認する。

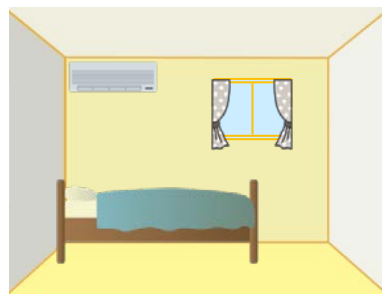
■ストーブ火災の防止



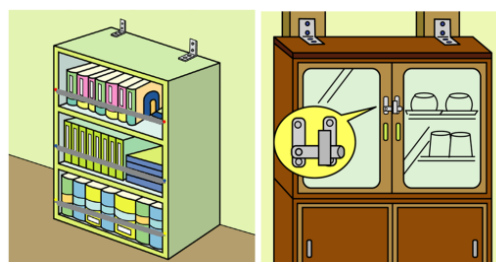
- 耐震自動消火装置を備えたものを使用する。
- 移動・転倒の際に怪我を負わないように、置き場所に注意する。

■就寝場所と家具の配置に注意

- 就寝中に地震に襲われたときに備え、家具が倒れる可能性のある範囲で就寝しない。
- 暗がりでの行動に備え、懐中電灯を枕元に用意しておく。



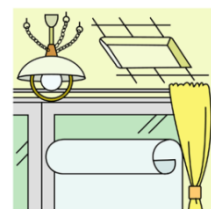
■戸棚、本棚の中身の落下防止



- 戸棚はひもやゴムバンドなどを掛けて中身の飛び出しを防止する。
- 開きの棚には止め金具をつけ、食器などが飛び出ないようにする。

■ガラスの飛散防止

- 市販の透明フィルムは、説明書をよく読んでしっかり貼る。
- 粘着テープを用いる場合 サッシ部分まで貼る。ガラス部分だけでは塊となって落ちてくる。



■照明器具の落下防止

- 照明はチェーンと金具を使って数力所止める。
- 蛍光灯は蛍光管の両端を耐熱テープで止めておく。